

2024年（令和6年）5月吉日

早稲田大学環境資源工学会（OB・OG会）会員各位

早稲田大学環境資源工学会  
会長 為栗 浩一

## 2024年度（令和6年）早大環境資源工学会定例総会のご案内

拝啓

新緑の候 皆さまにはお変わりございませんでしょうか。

今年度の総会ならびに懇親会も従前の形態にて実施できる見込みであります。

総会では、新たに早大環境資源工学科に教授として着任された笹木先生と大内先生に自己紹介を兼ねた研究紹介をいただくとともに、鮫島泰洋氏と須賀川拓氏による特別講演を予定しております。

尚、今年度より、大学側の個人情報管理の指針に従い、会員皆様に対する郵送による情報伝達からホームページ並びにメールによる情報伝達に順次切り替えて行くこととなりました。今後、実施内容に変更がある場合はホームページおよびメールマガジンなどにてお知らせしますので、開催前に各自ご確認のほどお願い申し上げます。

敬具

### 記

■日時 : 2024（令和6）年6月22日（土）13:30～19:00（受付開始12:30）

■場所 : 早稲田大学西早稲田キャンパス 63号館2階 03/04/05 会議室

1. 環境資源工学会総会 63号館2階 13時30分～14時40分
  - ①環境資源工学会活動報告 会長 為栗 浩一
  - ②環境資源工学科の近況 学科主任 山口 勉功 教授
  - ③退職のご挨拶 大和田 秀二 元教授
  - ④後任教員のご挨拶 笹木 圭子 教授
  - ⑤新任教員のご挨拶 大内 久尚 教授

＜休 憩 20分＞
2. 特別講演（特別ゲストによる講演） 15時00分～17時00分
  - 「100年に一度といわれる渋谷再開発の実像と将来展望」  
講演者 鮫島泰洋 様（東急不動産執行役員 1992年早大卒）
  - 「支離滅裂でもなぜ伝わる？戦場からのアドバイス」  
講演者 須賀川拓 様（株式会社TBS テレビ news 23 専属ジャーナリスト  
戦場記者 2006年慶大卒）

※記念撮影（総会終了後 63号館階段にて参加者全員にての写真撮影があります）
3. 懇親会 63号館1階 ロームスクエア 17時30分～19時00分

以上

## 【会場案内図】



## 【2024年度（令和6年）総会幹事団名簿】

幹事長 鷹巢 良右 1993年（平成5年）卒業

氏名	卒業年	研究室	氏名	卒業年	研究室	氏名	卒業年	研究室
鷹巢 良右	1993	大和田	織田 竜輔	2003	大和田	本間 旭陽	2023	大河内
坂本 大	1993	野口	長田 昌之	2004	茂呂	水守 蒼	2023	内田
入内島 武史	1993	大和田	杉浦 友哉	2013	大河内	立花 匡規	2023	栗原
津吹 幸久	1993	大和田	松永 昂樹	2013	大河内			
山岡 陽輔	1993	名古屋	新免 一樹	2013	大河内			
平澤 真也	1994	山崎淳	小松原 立稀	2023	古井			
山縣 三郎	1994	原田	大竹 竜史	2023	山口			

## 【総会に関するお問い合わせ先】

TEL・FAX : 03-5286-3327

早稲田大学 創造理工学部 環境資源工学科 大河内研究室

総会の実施内容等についてはホームページからご確認下さい。 <https://w-shigen.org>

また、今回、郵送させて頂いた総会案内および今回からホームページ上での閲覧に変更させて頂いた会報をはじめとした早大環境資源工学会からのご案内、過去の会報等は早大環境資源工学会のホームページからご覧いただけます。

## 【総会参加お申込み方法について】

総会にご参加される方は、以下のいずれかの方法でお申し込みください。

なお、事前申し込みは6月20日(木)を締め切りとさせていただきます。

### ① 会費等振込用紙を用いた事前登録

- 同封します会費等振込用紙を用いて会費、奨学金をご入金ください。  
(終身会員の方は会費支払い不要です)。
- 入金確認をもって、事前登録完了となります。

### ② 早大環境資源工学会のホームページを用いた事前登録 (WEB 登録)

- 記載のHPアドレスよりWEB登録ができます。<https://w-shigen.org>
- 会費、奨学金は会費等振込用紙を用いてご入金ください(終身会員の方は会費支払い不要です)【出来るだけホームページからの事前登録をお願いします】

### ③ 当日受付

- 受付で当日受付も行っていますので、ご利用ください。
- 会場準備の関係から、なるべく事前登録をご利用ください。

## 【早大環境資源工学会会費、奨学金について】

### 早大環境資源工学会奨学金

- 寄付金は一口 1,000 円以上となります。ご協力よろしくお願いたします。

### 早大環境資源工学会費

- 年会費は 2,000 円です (70 歳以上の会員の年会費は無料です)。
- 終身会費は 20,000 円です (60 歳以上の会員の終身会費は 10,000 円です)。
- 大学院地球・環境資源理工学専攻に在籍中の方の会費は免除となります。
- 懇親会参加費 (事前登録の際に、ご入金をお願いします)
- 懇親会の参加費は、5,000 円です (70 歳以上の会員は 3,000 円です)。

終身会費をお払いいただくと、その後の会費支払いの必要はありません。終身会費振込み済みの方は、総会案内状の宛名ラベルに「終身会員」との記載がありますのでご確認ください。(終身会費を支払ったにも関わらず、終身会員の表示が無い方は、恐れ入りますが、振込用紙の通信欄にその旨記載頂くか、ホームページ (<https://w-shigen.org/>) 内のお問い合わせ窓口より連絡ください。)

〒 100-0123 東京都〇〇市△△ 123-456  前川 統一郎 様  S54039 <b>終身会員</b>	宛名ラベルの見本  ← 会員番号
---	------------------------

## 【年会費・奨学金のお支払いについて】

- 会費等の支払いは郵便振込みとなります

(ゆうちょ口座より口座振り込みされた場合には、手数料はかかりません)

- 同封の払い込み用紙をご利用ください(支払い項目がわかるよう、項目の横に○をお付けください。奨学金は口数を記入下さい)

- 2024年6月20日までに振込みの処理をいただけますようお願い致します

### 記入例

#### 令和6年度 会費等振り込み用紙

支払い内訳 該当項目に○を付けてください。奨学金は口数を記入ください。

会費	令和6年度 年会費 <sup>※1</sup>	2,000円		その他	懇親会費	5,000円	
	終身会員への加入	20,000円	○		" (70才以上)	3,000円	
	" (60才以上)	10,000円			奨学金(一口千円)		2口

※1 封筒に 終身会員 と書かれている方と70歳以上の会員は、年会費不要です

会員 No.[s, s, H, h] 05051 ] 会員No.は封筒に記載されています

勤務先名称: 環境資源株式会社

会員番号がH05051の会員が  
新規終身会費 20,000円と  
奨学金2口(2,000円)を  
入金する場合

#### 令和6年度 会費等振り込み用紙

支払い内訳 該当項目に○を付けてください。奨学金は口数を記入ください。

会費	令和6年度 年会費 <sup>※1</sup>	2,000円	○	その他	懇親会費	5,000円	○
	終身会員への加入	20,000円			" (70才以上)	3,000円	
	" (60才以上)	10,000円			奨学金(一口千円)		5口

※1 封筒に 終身会員 と書かれている方と70歳以上の会員は、年会費不要です

会員 No.[S, s, H, h] 54039 ] 会員No.は封筒に記載されています

勤務先名称: 株式会社資源工学

会員番号がS54039の会員が  
年会費 2,000円と  
懇親会費 5,000円、  
奨学金5口(5,000円)を  
入金する場合

#### 令和6年度 会費等振り込み用紙

支払い内訳 該当項目に○を付けてください。奨学金は口数を記入ください。

会費	令和6年度 年会費 <sup>※1</sup>	2,000円		その他	懇親会費	5,000円	
	終身会員への加入	20,000円			" (70才以上)	3,000円	
	" (60才以上)	10,000円			奨学金(一口千円)		7口

※1 封筒に 終身会員 と書かれている方と70歳以上の会員は、年会費不要です

会員 No.[S, s, H, h] 28005 ] 会員No.は封筒に記載されています

勤務先名称: (お勤めでない方と、出席者名簿への記載を望まない方は  
空欄で構いません。)

すでに終身会員である、  
会員番号がS28005の会員が  
奨学金7口(7,000円)のみを  
入金する場合

## 【メールアドレスの登録および変更について】

今後の環境資源工学会 (OB・OG会) からの連絡は、メール連絡となりますので、まだ登録されていない方およびメールアドレスが変更となった方は、早大環境資源工学会のホームページより、登録をお願いします。(別紙 登録方法参照)

現在の会員状況は、住所確認者 (3,165名) に比べて、メール確認者 (2,336名) と少なく、今後のメールによる会員皆様に対する情報提供の課題となっております。

ホームページからのメールアドレスの登録を宜しくお願いします。

## 【早大環境資源工学会奨学金について】

早大環境資源工学会奨学金は、環境資源工学科の学部生の勉学を経済的側面から支援するもので、現在、毎年2名の学生に各30万円（合計60万円）の支給を行っています。

この奨学金は、早大環境資源工学会奨学基金の運用益と会員の皆様からの寄付金を原資としておりますが、昨今の運用益減少の影響から、安定した支給水準を確保するためには、毎年20万円ほどの寄付金が必要となっております。

2023年度は以下の2名の4年生の学生に奨学金を給付することができました。

ありがとうございます。

小澤 慶大さん（古井研究室）、坂口 太一さん（古井研究室）

会費のお支払いの際には、奨学金も合わせてよろしく願いいたします。

### 参考：早大環境資源工学会奨学金について

「早大環境資源工学会奨学金（本奨学金）」は、故海老原安太郎氏（昭和22年卒）のご厚志と、会員各位からのご厚意とを合わせた400万円を基金に、早大資源工学会奨学金制度として平成6年度に発足しました。平成9年度からは、学生部奨学課に運営を移管し、早稲田大学の正式な学内奨学金となっております。

本奨学金の支給対象は、環境資源工学科の4年生であり、支給対象者（受賞者）は、学業成績、家計状況及び人物の総合的な評価により選考されています。平成6年度の創設以来、この制度により延べ55名の学部生の勉学を経済的側面から支援してきました。

本奨学金は、早大環境資源工学会奨学基金の運用益を支給原資としています。早大環境資源工学会奨学基金は、会員、会員の父母、及びこの趣旨に賛同する方々からの寄付金によるものです。総会等の際に、会員の皆さんからいただいております寄付金は、指定寄付として、この奨学基金に繰り入れてきました。

奨学基金の残高は、現在は2,465万円にまで積みあがっています。基金の増加とともに、基金の運用益を原資とする本奨学金も、制度創設時は1名10万円であったものが、平成9年度から2名各20万円、平成19年度からは2名各30万円と増加し、満足行く支給水準を保ってきました。ところが、昨今の金利低下の影響で運用益、すなわち奨学金原資が大きく減少したため、支給水準の保持が困難な事態が発生してしまいました。

このため、このような低金利状態でも、一定した奨学金の原資を確保するため、早大環境資源工学会理事会と大学教学支援課とで話し合った結果、以下の制度を新たに創設することを平成26年度の早大環境資源工学会総会で提案し、ご承認をいただいております。

- 一、「早大環境資源工学会奨学基金果実補填奨学金（新奨学金）」を立ち上げ、早大環境資源工学会奨学基金の果実（運用益）と合わせて奨学金として給付することにより、従来通りの学生支援体制を確保する。
- 二、新奨学金設定後の指定寄付（会員の方からの寄付など）は、その都度新奨学金の原資に繰り入れる。
- 三、新奨学金は、創造理工学部運営委員会の責任の下に運用する奨学制度とする。
- 四、各年度に給付を受ける奨学生の人数は2名とする。奨学金は、早大環境資源工学会奨学基金の果実と合算し、年額30万円とする。

現在までの奨学金受賞者リスト及び受賞者の抱負は当会HPをご覧ください。

## 【早大環境資源工学会の活動報告】

早大環境資源工学会は、会員相互の交流と親睦、会員と学科との連携を通じて、会員及び母校の発展に寄与することを、その目的としています。

この目的達成のため、昨年度（2023年度）は以下の事業を実施しました。

### 1. 総務委員会関係

#### (1) 会議等

- ・理事会の開催 5回（4/8、5/20、9/30、12/2、1/27）

#### (2) 早大環境資源工学会奨学基金

- ・2名の学部4年生に、各300,000円の奨学金給付

#### (3) 会費の管理

- ・年会費支払 42名
- ・新規終身会員 21名（内、60歳以上6名）

#### (4) 会計

- ・会計報告のとおり

### 2. 事業委員会関係

#### (1) 総会・懇親会の開催

- ・年次定例総会を6月24日(土)対面にて実施。

#### (2) 環境資源稲門会活動

- ・早稲田学報にて活動状況を寄稿、またFacebookの環境資源稲門会のグループページにて活動状況などを公開

#### (3) 環境資源工学科に提携講座（環境資源と社会）を提供

- ・早大環境資源工学会と創造理工学部が正式に提携し、新井純氏（1981年卒）を非常勤講師、その他卒業生11名をゲストスピーカーとする提携講座「環境資源と社会」を実施

2023年度「環境資源と社会」日程			
対象：	学部1年生		
日時：	毎週月曜日，17:00～18:40		
教室：	未定（2022年度は52号館302教室）		
講義日	所属	氏名	講義題目
10月9日	元昭和シェル石油社長	新井純 氏	エネルギー転換はどのようにして起こるかー2つの課題とこれまでの変遷
10月16日	元昭和シェル石油社長	新井純 氏	エネルギー転換はどのようにして起こるかー低炭素化への挑戦
10月23日	元昭和シェル石油社長	新井純 氏	エネルギー転換はどのようにして起こるかーエネルギーのブラック Swan を求めて
10月30日	資源総合システム社長	一木修 氏	太陽光発電システムの現状と展望～エネルギーとしての太陽光発電～
11月6日	ジオシステム社長	高杉真司 氏	地熱エネルギーの活用ーいかに地熱発電・地中熱を日本に普及させるか？！
11月13日	元伊藤忠石油開発社長	田辺明生 氏	石油開発の現状と将来：その魅力
11月20日	前双日アドバイザー，元JOGMEC審議役	神谷夏実 氏	めざせ、鉱山開発！
11月27日	日本エリゾマグネチクス社長	丹野秀昭 氏	資源循環型社会における「分ける」技術の役割
12月4日	武甲鉱業相談役，元太平洋セメント執行役員	富永佳晃 氏	資源循環型社会におけるセメント産業の役割
12月11日	国際航業上級顧問	前川統一郎 氏	見えない巨大水脈 地下水の科学
12月18日	TOTO顧問・西日本工業大学副学長	成清雄一 氏	製造業の環境管理と経営
12月25日	イー・アンド・イー ソリューションズ社長	川上智 氏	技術者として見る環境事業
1月15日	前西日本技術開発（株）東京事務所長	南坊進二 氏	留学，国際協力と専門性
1月22日	SDGs実践コンサルタント	馬場滋 氏	発想法による視点の広がり

### 3. 組織委員会関係

#### (1) 会員名簿整備活動

- ・新規卒業者、修了者の名簿への登録
- ・WEB 経由および資友会経由等の卒業生情報の名簿への反映
- ・振込用紙記載の住所と名簿記載住所との照合

#### (2) 会員の状況

2024年4月1日現在

会員種別	一般会員	終身会員	合計
総会員	4,896 人	1,192 人	6,088 人
逝去者	802 人	234 人	1,036 人
総会員（逝去者除く）	4,094 人	958 人	5,052 人
住所不明	1,714 人	173 人	1,887 人
住所確認	2,380 人	785 人	3,165 人
住所不明率	42%	18%	37%
メール不明	2,293 人	423 人	2,716 人
メール確認	1,801 人	535 人	2,336 人
メール不明率	56%	44%	54%

### 4. 広報委員会関係

#### (1) 会報の発行

- ・昭和 42 年 12 月 15 日に第 1 号を発行。現在まで毎年 1 回の発行を続けてきた。第 1 号から 2023（令和 5）年 5 月 20 日発行の第 58 号までの全てを、早大環境資源工学会のホームページにて公開

#### (2) メール配信サービス（メールマガジン）

- ・早大環境資源工学会の名簿にメールアドレスが記載されている会員に、5 月下旬ならびに 6 月に数回の年次定例総会開催の案内をメールで配信（約 2,300 通）

#### (3) ホームページの運営

- ・早大環境資源工学会のホームページを開設し、適宜情報をアップしている

#### (4) 学部卒業式のサポート

- ・3 月 26 日、学部学位授与式のサポートを実施

### 5. 連絡事項

今年度より、従来、総会案内に同封していた会報（印刷物）について、今後のメールによる情報提供への変更に伴い、ホームページ上での閲覧に変更とさせて頂きました。

今年度の会報（第 59 号）は、ホームページでご覧いただくようお願い申し上げます。

環境資源工学会ホームページ：<https://w-shigen.org>

## 【環境資源工学会の運営体制（2023年度）】

会長 <sup>※1</sup>	為栗 浩一	(1986/S61)	
副会長	山口 勉功教授	(1986/S61)	環境資源工学科 学科主任
副会長	馬場 滋	(1979/S54)	広報委員会 委員長
理事	川上 智	(1984/S59)	総務委員会 委員長
理事	伊貝 美穂	(1990/H02)	事業委員会 委員長
理事	山本 茂太	(1998/H10)	組織委員会 委員長
理事	中居 恒明	(1986/S61)	
理事	吉成 龍太郎	(1987/S62)	
理事	大河内 博教授	(1989/S65)	環境資源工学会 会計口座代表者
理事	上原 大二郎	(1991/H03)	
理事	野口 裕之	(1992/H04)	
理事	北 奈央子	(1992/H04)	
監事 <sup>※2</sup>	前川 統一郎	(1979/S54)	
監事 <sup>※2</sup>	川崎 秀憲	(1982/S57)	

### <総務委員会>

役員会・学年幹事会の運営、会計、奨学金、その他総務に関する会務を担当する。

○川上 智、大河内 博、丹野 秀昭（1990/H02）、野口 裕之、金沢 駿（2016/H28）

### <事業委員会>

総会、講演会、懇親会、早大環境資源稲門会、その他会の活動の企画を担当する。

総会幹事団は事業委員長と連携して、総会・懇親会等の企画運営を行うこととする。

○伊貝 美穂、吉成 龍太郎、坂本 大（稲門会会長 1993/H05）、鈴木 秀夫（稲門会副会長 1992/H04）、  
源河 悠輔（稲門会事務局長 2004/H16）

### <組織委員会>

会員データの修正・更新、会員管理等を担当する。

○山本 茂太、安井 万奈（1991/H03）、平澤 真也（1994/H06）

### <広報委員会>

会報発行、ホームページの運営等を担当する。

○馬場 滋、堀内 英樹（1984/S59）、中居 恒明、上原 大二郎、北 奈央子、織田 竜輔（2003/H15）

※1 会長任期は 2025 年（令和 7 年）総会の終了時点で満了となります。

※2 監事任期は 2025 年（令和 7 年）総会の終了時点で満了となります。

以上